



今回は美郷町や各中学校で行われた読書活動の充実に関わる事業について紹介します。

## 美郷町 読書フェスタを訪問して

10月に行われた、2023美郷町読書フェスタを訪問してきました。会場の学友館に入ると、心に残った本の紹介コンクールの掲示が目飛び込んできました。児童生徒から地域の方まで920点の応募があったそうで、読んでみたくなる本の紹介がたくさんありました。町内の読み聞かせ3団体による群読や大型紙芝居、影絵紙芝居もとても楽しいものでした。他にも「本の福袋」や「雑誌リサイクル市」、「口笛コンサート」などが行われ来場された、たくさんの方々の笑顔が印象的でした。



## 南外中学校 全校ビブリオバトルを訪問して

大仙市立南外中学校では全校を挙げてビブリオバトルに取り組んでいます。今年度も夏季休業前にビブリオバトルに関する集会を行い、その後に学級でのビブリオバトル、そして全校ビブリオバトルを実施しました。全校ビブリオバトル出場者を載せたポスターを制作したり、バトル終了の時刻を知らせる音が牛の鳴き声だったり、盛り上げるための様々な工夫が見られました。当日は、6人のバトルが熱のこもった書評合戦を繰り広げ、私はもちろん、聞いている生徒も「読みたくなる本」がたくさんあったことと思います。司会進行等も生徒が主体的に行っていて、素晴らしい「ビブリオバトル」と感じました。引き続き、各学校の読書活動に注目していきたいと思っています。



【校内のポスター】



【バトルの様子】

## 大曲中学校「ビブリオバトル・学区内小学校訪問」から

大仙市立大曲中学校では11月1日、7日、8日に中学生が出身校を訪問して本の面白さを紹介する「ビブリオバトル・学区内小学校訪問」を行いました。今年度は中学1年生、各学級の代表8名がそれぞれの出身小学校を訪問したそうです。私が訪問した四ツ屋小学校では小学生の頃から大好きな本について、先輩らしく丁寧に紹介していました。紹介後には6年生からたくさんの質問が出されていました。少し照れながらも質問にしっかりと答え、楽しそうに交流している中学生の表情が印象に残りました。小学生も中学生もさらに本が好きになったことと思います。



【質問の様子】